

# KASHIWARA 市議会だより





# 柏原市議会 議会活性化の取り組み

柏原市議会では、インターネットでの議会中継の実施や本会議での質疑質問における「一括質問・一括答弁方式」から「一問一答方式」への変更など、市民の皆さまに開かれた分かりやすい議会運営に取り組んでまいりました。

今後もこの市議会活性化の歩みを進めるとの全議員の共通認識のもと、また平成30年は柏原市市制施行60年の節目の年でもあることから、新たな取り組みとして柏原市内にある大学と、お互いに協力できる体制を構築するための方策を協議していくことになりました。

具体的な取り組み内容については、決まり次第、市議会だより等で市民の皆さまにお知らせしてまいります。

～協力体制を構築するための方策を協議中～

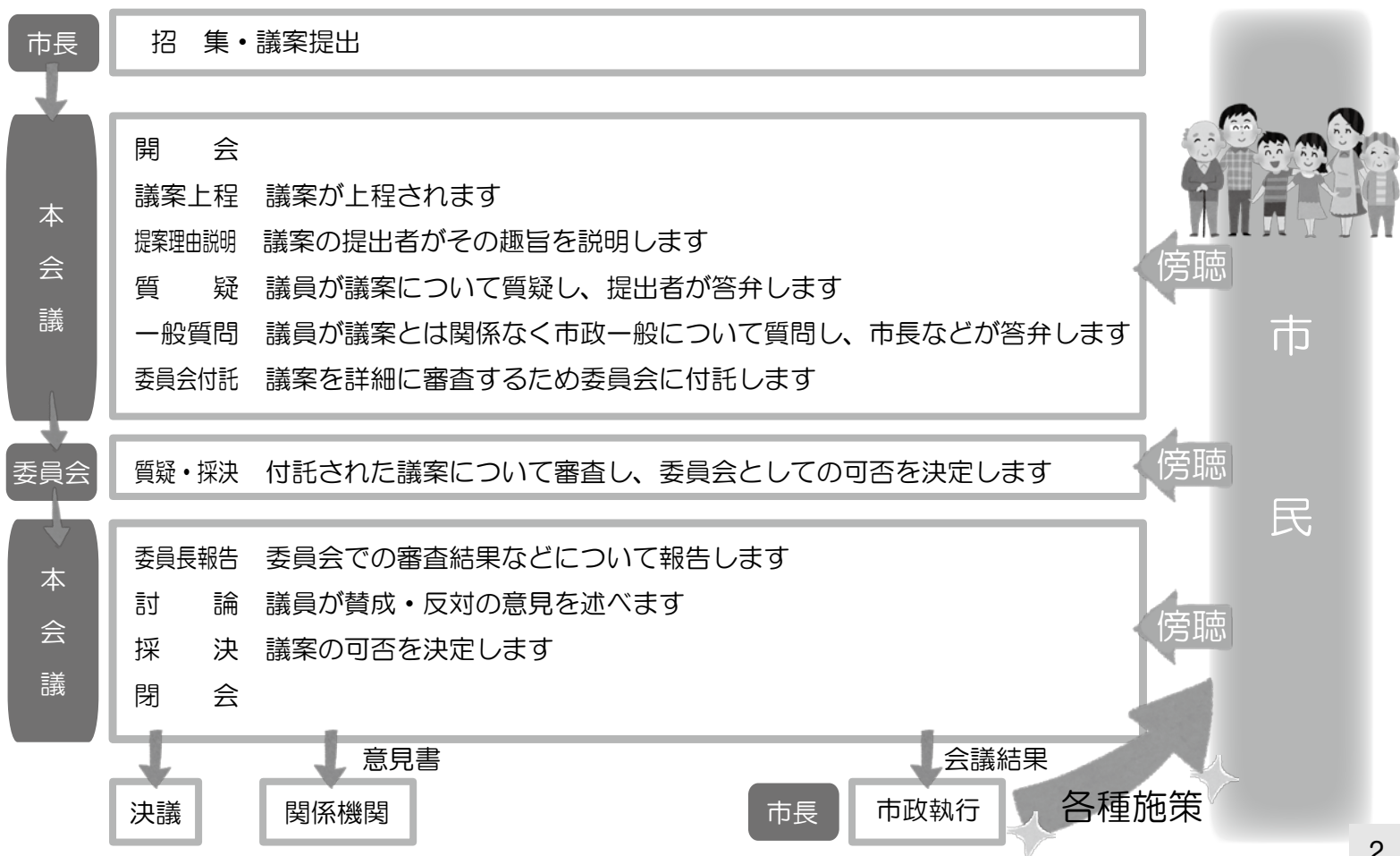


市議会



大学

## 定例会の流れ



# 3月議会概要

平成30年第1回定例会は2月21日から3月23日までの31日間の会期で開かれ、市長から提出された31議案を慎重に審議しました。

## 特に注目された事業

市民総合フェスティバル  
振興事業  
3,164.2万円

母親労働拠点創出事業

コンビニ交付システム  
構築事業  
4,516.5万円

幼保再編事業  
認定こども園施設整備事業

子育て世帯  
住宅取得補助事業  
150万円

5歳児保育料の  
教育費相当部分無償化



# 市政運営方針に対する 代表質問

QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

## 家庭と協力した 学力向上の取り組み の継続を

女性超党派りんどう



**問** 小学校で実施している「かしわらっ子はぐくみテスト」における学力向上の取り組みを問う。

**市長** このテストは、市内小学生の学力と学習状況を客観的に捉えることができ、テスト結果の個人票には、点数以外に学習習慣や生活のアドバイスの記載があることから、保護者と子どもが今後の目標や生活改善を話し合えるものとなっている。

**要望** テストの内容は普段のテストより少し難しい問題数も多いので、子どもにとっては大変であるが、将来の受験に向けてのいい経験になるとの声を聞く。家庭においては、保護者と子どもとの関わりの面で大変役に立ち、学校においては、中学校に引き継ぐことで、きめ細やかな対応につながるものが期待できる。

今後も家庭と学校が協力した学力向上の取り組みの継続を要望する。



かしわらっ子はぐくみテストを受ける子どもたち

## 「柏原版健康 マイレージ」で 医療費抑制を！

公明党



**問** これまで市が実施してきた国民健康保険料抑制の取り組みである保健事業において、国保広域化後は保険料にどう影響するのか問う。

**市長** 国保広域化後においても健康づくり・医療費の適正化のための保健事業に取り組んでいくことは、標準保険料率の引き下げにつながるため引き続き努力していく。

**問** 大阪府において国保被保険者への健康づくりの取り組みにインセンティブを与え、医療費の適正化を図る「大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備等事業」の発表があったが、市としてどのように関わるのか問う。

**市長** 費用対効果等を踏まえて前向きに検討する。

**要望** 新庁舎が完成する平成32年度を目標にプロジェクトチームを立ち上げ、柏原版健康づくり支援事業をスタートすることを強く要望する。



## 住民票などの コンビニ交付の 導入について



自由民主党至誠会

**問** 取得が可能となる。  
導入にあたっての課題を問う。

**市長** 柏原市内において、コンビニの所在に偏りがある点や実施に係る経費が年間約一千五百万円かかる点がある。今後は、コンビニ交付への移行を進めながら、現在ある市民課連絡所の統廃合を含め、経費の節減に努める。

**要望** 市民の利便性が図られることを期待する。

**市長** 住民票等をマイナンバーカードを用いてコンビニで取得できる交付サービスを平成31年度から実施するため平成30年度はその準備を進める。コンビニ交付を実施することにより、全国の大手コンビニで、平日に限らず、夜間、休日も証明書



## 公共施設利用における 広域連携について

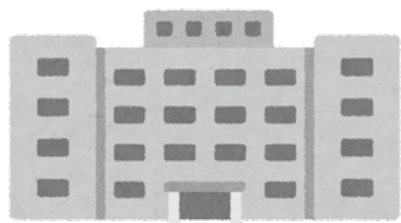


維新の会

**問** 公共施設等における近隣自治体との広域連携の取り組みを問う。

**市長** 「公共施設の広域的な相互利用のための近隣自治体との体制づくり」の方針に基づき、羽曳野市・藤井寺市と公共施設の相互利用の検討を進める。

**問** これまで保健所やハローワーク等が他市に移転したことがあるが、今回の広域連携では、柏原市の公共施設が他市に統合されるのか。



## 次世代につけを残さない 安定した市政運営を



自由民主党政新会

公共施設の統合や複合化に積極的に取り組まなければならないと考えている。

**要望** 市制施行60周年の平成30年度は、柏原市の将来を左右する年である

**問** 健全な行財政運営に向けた取り組みとして、事業評価を実施し事業の再構築をされ、また使用料等の受益者負担の見直しや各種団体への補助金の精査にまで踏み込まれてきたが、今後、行財政基盤を整えるには、公共施設のマネジメントを積極的に進めるしかないと考えてるが、市長の考えを問う。

と考える。持続可能なまち柏原の実現のためにも次世代につけをまわさない安定した市政運営の確立に向け、市長がリーダーシップを発揮されることを要望する。

**市長** 今後は、これまで課題が大きく容易に取り組むことができなかった





# 議案に対する 代表質疑

質問者席

QRコードから、各議員の質疑の映像を見ることができます。

## 女性の視点で

### 防災対策を

公明党



**問** 災害対応には女性の視点が必要と言われるが市の対応を問う。

**答** 柏原市防災会議において6人の女性委員で女性部会を組織し、地域防災計画改訂の際には女性特有のきめ細かな視点を取り入れるべく協議を重ねてきた。今後は女性職員の災害業務従事率の向上を図り、女性の視点を取り入れた災害対応を図っていききたい。

**要望** 東京都が作成した新防災ブック「東京くらし防災」は、若い人の防災に対するイメージを変えるアイデアがあり興味を引く。普段からできる



東京都発行「東京くらし防災」

## 災害に強い

### まちづくりを

維新の会



**問** 災害時に防災行政無線屋外スピーカーを使うことで、地域ごとに線屋外スピーカーを使う情報が得られ、混乱を招いて市民へ避難情報等を伝えるが、この他の災害時における市民への情報伝達方法について問う。

**答** 市ホームページ、SNS等への掲載と携帯電話へのエリアメールの配信、また市消防団による広報活動など複数の手段を用いて幅広く市民への情報伝達を行っている。しかしながら、避難勧告の対象でない方にも情報が伝わることやスピーカーの音が聞きとりにくいなど物理的な限界がある。

**要望** アナログ電波を利用した戸別受信機を設置



市内に設置されている防災屋外スピーカー

## 幼児教育の

### 大切さを考える



自由民主党政新会

**問** 5歳児保育料の教育 費相当部分の無償化につ いて問う。

**答** 保護者の経済的負担 を軽減するとともに、子 どもが等しく幼児教育・ 保育を受けることができ る環境を整え、円滑に小 学校教育につながることを 目的として、5歳児にお ける幼稚園等保育料は全 額を無償とし、保育所等 保育料は教育費相当額と して半額を軽減する。



**要望** 幼児期教育は、子 どもたちが成長する上で 重要な時期である。文科 省の幼稚園教育要領解説 によると幼児の様々な気 づきや芽生えは、突然見

## 一貫教育と英語教育

### 明確に予算化を

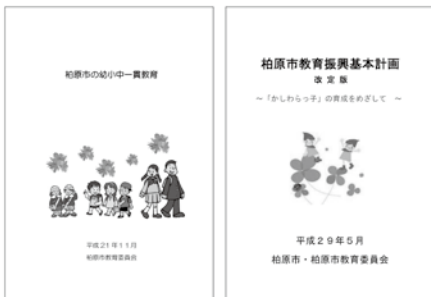


女性超党派りんどう

**問** 幼小中一貫教育推進 教員11名の役割を問う。

**答** 学校や地域の実情に 配慮して各中学校区に配 置している6名の教員と、 平成32年度からの小学校 での英語の教科化に対応 するための英語教員5名 を配置している。

**要望** 一貫教育推進教員 の中から英語教員を配置 することは一貫教育推進 事業を圧迫するのではな いか。英語が教科化され るため移行期間から準備 することは大事であるが、 この予算は数学や国語な ど他の重要な教科にも配 分されるべきで、英語教 員の比率を高くしている



## バリアフリーを進めて

### 快適なまちづくりを



自由民主党至誠会

**問** 近鉄堅下駅、法善寺 駅周辺のバリアフリー化 の利便性に配慮するなら 構想について、どのよう に進めていくのか問う。

**答** 学識経験者等で構成 する柏原市バリアフリー 基本構想協議会で協議を 重ね、平成30年度中にバ リアフリー基本構想を策 定する予定である。

**問** 基本構想策定後は、 どう進めていくのか問う。

**答** 早期に近鉄堅下駅、 法善寺駅のバリアフリー 化工事ができるよう国や 大阪府、鉄道事業者等と 協議を進める予定である。

**要望** 両駅のバリアフ リー化にはエレベーター の設置が考えられるが、





第 1 回定例会で賛否が分かれた議案

議案 番号	議 案 名	採 決	自由民主党 至 誠 会				公明党			維新の会			自由民主党 政 新 会	女性超党派 りんどう	個 人	個 人		
			乾	奥山	大坪	寺田	大木	新屋	中村	峯	梅原	鶴田	田中	山下	山口	岸野	山本	橋本
			一	渉	教孝	悦久	留美	広子	保治	弘之	壽恵	将良	秀昭	亜緯子	由華	友美子	修広	満夫
議案第1号	平成30年度柏原市一般会計予算	可 決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

全会一致で可決・同意した議案

議案 番号	議 案 名	議案 番号	議 案 名
議案第2号	平成30年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 予算	議案第18号	柏原市介護保険条例の一部改正について
議案第3号	平成30年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所) 予算	議案第19号	柏原市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
議案第4号	平成30年度柏原市介護保険事業特別会計予算	議案第20号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について
議案第5号	平成30年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計予算	議案第21号	柏原市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
議案第6号	平成30年度柏原市市立柏原病院事業会計予算	議案第22号	柏原市農地災害復旧事業分担金条例の制定について
議案第7号	平成30年度柏原市水道事業会計予算	議案第23号	平成29年度柏原市一般会計補正予算(第9号)
議案第8号	平成30年度柏原市下水道事業会計予算	議案第24号	平成29年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所) 補正予算(第1号)
議案第9号	工事請負契約の締結について	議案第25号	平成29年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
議案第10号	行政財産の貸付けについて	議案第26号	平成29年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算(第3号)
議案第11号	市道の路線認定及び廃止について	議案第27号	平成29年度柏原市下水道事業会計補正予算(第2号)
議案第12号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	議案第28号	教育長の任命につき同意を求めることについて
議案第13号	執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	議案第29号	一般職の職員の給料月額の特例に関する条例の一部改正について
議案第14号	嘱託員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	議案第30号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について
議案第15号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	議案第31号	平成29年度柏原市一般会計補正予算(第10号)
議案第16号	柏原市手数料条例の一部改正について	議提第1号	柏原市議会委員会条例の一部改正について
議案第17号	柏原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所の保育料に関する条例の一部改正について	決議第1号	「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議

・議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。（可否同数の場合は除く）  
・会派に属さない議員は「個人」と表記しています。

・賛成の場合は「○」、反対の場合「×」と表記しています。

陳 情 等

●ジョイフル国分（206号）の活用についての要望書  
ジョイフル国分区分所有者の会  
（この陳情は、議長預かりとなりました）

議会日程（第2回定例会）会期6月4日から6月28日まで（予定）

日	月	火	水	木	金	土
6/ 3	4 本 会 議 (議案説明)	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 本 会 議 (質疑質問)	19 本 会 議 (質疑質問)	20	21 総務産業 委 員 会	22 厚生文教 委 員 会	23
24	25	26	27	28 本 会 議 (採 決)	29	30

- ※ 会議は午前10時から始まります。
- ※ 日程は変更する場合があります。
- ※ 6月18日、19日に予定している質疑質問の順番等については決まり次第HPに掲載します。

決 議

議員提案により次の決議案が提出され全会一致で可決しました。

「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

昨年、政府において、閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした国際博覧会の開催についての書簡をBIE（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われている。

国際博覧会の大阪での開催は、古くから、人々の叡智により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康に係る様々な課題を克服し、人類の未来に向けてより良い生活を送ることができる新しいモデルを提案することや、それを広く世界に発信するという点において、大変意義がある。

さらに、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて大阪の存在感を示す絶好の機会にもなり、ひいては柏原市民の健康増進や地域の振興にも寄与するなど、都市の活性化、柏原市民生活の向上も期待できる。

また一方で、人類社会の発展に貢献する「新たな国際博覧会」のあり方を示すためにも適正な開催経費の下に、国、経済界、地元自治体の役割を明確にし、効率的に取り組んでいくことも重要である。

なお、開催予定地である夢洲にはIR（カジノ）の誘致構想が存在するが、国際博覧会の誘致はIR（カジノ）の誘致とは切り離して、検討・構想されていると認識しているところである。

以上のことを踏まえ、柏原市議会としては、大阪での国際博覧会開催の意義に賛同するものであり、国際博覧会の誘致・実現に向け、大阪府・大阪市や経済界とともに、積極的に取り組むこととする。

以上、決議する。 平成30年2月21日